

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成17年12月8日(2005.12.8)

【公表番号】特表2002-514920(P2002-514920A)

【公表日】平成14年5月21日(2002.5.21)

【出願番号】特願平10-549565

【国際特許分類第7版】

C 1 2 N 15/09

A 2 1 D 2/26

A 2 3 J 3/30

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/10

C 1 2 N 9/48

C 1 2 P 21/02

C 1 2 P 21/06

//(C 1 2 N 15/09

C 1 2 R 1:69)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 2 1 D 2/26

A 2 3 J 3/30

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 9/48

C 1 2 P 21/02 C

C 1 2 P 21/06

C 1 2 N 5/00 A

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 1 2 R 1:69

【手続補正書】

【提出日】平成17年5月16日(2005.5.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成17年5月16日

特許庁長官 小川 洋 殿

1. 事件の表示

平成10年特許願第549565号

2. 補正をする者

名称 ノボザイムス バイオテック, インコーポレイティド

3. 代理人

住所 〒105-8423 東京都港区虎ノ門三丁目5番1号 虎ノ門37森ビル
青和特許法律事務所 電話 03-5470-1900

氏名 弁理士(7751)石田 敬



4. 補正対象書類名

請求の範囲

5. 補正対象項目名

請求の範囲

6. 補正の内容

請求の範囲を別紙の通り補正します。

7. 添付書類の目録

請求の範囲

1通



請求の範囲

1. アミノペプチダーゼ活性を有する単離されたポリペプチドであって、

- (a) 配列番号2のアミノ酸16～496のアミノ酸配列と少なくとも70%の同一性を有するアミノ酸配列を有するポリペプチド；
- (b) 中緊縮性条件下で、(i)配列番号1のヌクレオチド46～1488の核酸配列、(ii)その相補鎖、または(iii)アミノペプチダーゼ活性を有するポリペプチドフラグメントをコードする配列番号1の部分配列(subsequence)、とハイブリダイズする核酸によりコードされるポリペプチド；
- (c) (a)または(b)の対立遺伝子変異体；
- (d) アミノペプチダーゼ活性を有する、(a), (b)または(c)のフラグメント；および
- (e) 物理化学的性質：(i)Ala-p-ニトロアニリドの存在下で周囲温度で測定した時にpH7.27からpH10.95までの範囲内の最適pH；(ii)基質の不在下で60°Cで20分間インキュベーションした後で測定される、pH7.5での、初期活性と比較して90%以上の温度安定性；および(iii)N末端にAla, Arg, Asn, Asp, Cys, Gln, Glu, Gly, His, Ile, Leu, Lys, Phe, Pro, Ser, Thr, Trp, TyrまたはValを含む基質を加水分解する能力、を有する、アミノペプチダーゼ活性を有するポリペプチド

から成る群より選ばれたポリペプチド。

2. 配列番号2のアミノ酸16～496のアミノ酸配列と少なくとも70%の同一性を有するアミノ酸配列を含んで成る、請求項1のポリペプチド。

3. 中緊縮性条件下で、配列番号1のヌクレオチド46～1488の核酸配列、またはその相補鎖、あるいはアミノペプチダーゼ活性を有するポリペプチドフラグメントをコードするそれらの部分配列(subsequence)、とハイブリダイズする核酸によりコードされる、請求項1のポリペプチド。

4. 高緊縮性条件下で、配列番号1のヌクレオチド46～1488の核酸配列、またはその相補鎖、あるいはアミノペプチダーゼ活性を有するポリペプチドフラグメントをコードするそれらの部分配列(subsequence)、とハイブリダイズする核酸によりコードされる、請求項1のポリペプチド。

5. 次の物理化学的性質：(i)Ala-p-ニトロアニリドの存在下で周囲温度で測定した時にpH7.27からpH10.95までの範囲内の最適pH；(ii)基質の不在下で60°Cで20分間インキュベーションした後で測定される、pH7.5での、初期活性と比較して90%以上の温度安定性；および(iii) N末端にAla, Arg, Asn, Asp, Cys, Gln, Glu, Gly, His, Ile, Leu, Lys, Phe, Pro, Ser, Thr, Trp, TyrまたはValを含む基質を加水分解する能力、を有する、請求項1のポリペプチド。

6. E. コリNRRL B-21677中に含まれるプラスミドpEJG18中に含まれる核酸配列によりコードされる、請求項1のポリペプチド。

7. 請求項1のポリペプチドをコードする核酸配列を含んで成る、単離された核酸配列。

8. 適当な発現宿主中の前記ポリペプチドの生産を指令する1または複数の調節配列に作用可能に連結された請求項7の核酸配列を含んで成る核酸構成物。

9. 請求項8の核酸構成物、プロモーター、並びに転写および翻訳終結シグナルを含んで成る、組換え発現ベクター。

10. 請求項8の核酸構成物を含んで成る組換え宿主細胞。

11. 請求項1のポリペプチドの生産方法であって、(a)株を培養して前記ポリペプチドを含んで成る上清を生産し；そして(b)前記ポリペプチドを回収することを含んで成る方法。

12. ポリペプチドの生産方法であって、前記ポリペプチドの生産に適した条件下で請求項10の宿主細胞を培養し；そして(b)前記ポリペプチドを回収することを含んで成る方法。

13. タンパク様基質からの水解物の生産方法であって、前記基質を請求項1のポリペプチドとエンドペプチダーゼの作用にかけることを含んで成り、ここで、前記水解物がLeu, Gly, Glu, Ser, Asp, Asn, Pro, Cys, Alaおよび／またはGlnに富んでいる、方法。

14. 前記水解物がGlyに富んでいる、請求項13の方法。

15. 請求項1のポリペプチドと適当な担体とを含んで成る、風味改良用組成物。